

知的障害特別支援学校 高等部第2学年 生活単元学習 学習指導案

[全体計画]

日時	平成**年*月*日 (*曜日) 13:15~14:30	場所	高等部2年*組教室
指導者	T1〇〇, T2〇〇, T3〇〇		
単元名	茨城リンピック KOUNI 2018 第2弾!!		
単元設定の理由	<p>本グループは、卒業後はほとんどの生徒が一般就労を目指している、**コース5名、**コース9名の生徒たちである。本グループの生徒は、様々な場面でリーダーとして活動することが多いが、教師に依頼された仕事を全うすることが多く、何かを企画、準備する経験は乏しい。そのため、自分が主体であることや、外部からの要請に対応しているかどうかの確信に課題があると感じる。実際に企画から準備を進める経験をし、リーダーとして仕事を成し遂げる責任を自覚する必要があると考える。</p> <p>特別支援学校学習指導要領解説総則等編高等部第5章第1節各教科、生活単元学習については「(イ) 単元は、必要な知識・技能の獲得とともに、生活上の望ましい習慣・態度の形成を図るものであり、身につけた内容が生活に生かされるものであること」と、獲得した知識や技能を日常生活へ般化することが重要とされている。本単元では学期末の学年スポーツ大会の企画から運営までを取り上げる。生徒たちが企画し準備するうえで、必要な知識・技能を獲得し、実行委員として大会を運営することで責任ある態度を身に付けてほしいと考えた。本単元で取り上げる茨城リンピックは1学期にも実施しており、生徒が楽しみにしている学期末の行事である。また、2学期には教師企画の高等部全体でスポーツフェスタを実施しており、学年で勝利に向けて一致団結した経験を踏まえ、より意欲的にかつ主体的に活動できると考えた。</p> <p>指導に当たっては、「茨城リンピックを成功させるために」をキーワードに条件を設定し、各グループが協力し合うことが必要であり、主体的に連携し合える活動になることをねらいとした。そのために、報告・連絡・相談し、グループ内で役割を決めることで、一人で活動することがないよう環境を設定し、支援していく。また、4つのグループの進捗状況を可視化できるようにアイディアシートや掲示板を活用することで、各々のグループの行動を同時に確認できるような環境を整えていく。また、大会運営の際に物品の借用や講評、審判の依頼が必要な場合については、借用書や依頼書を作成し、卒業後の生活に生かせるようにする。今回の学習の中で活動が終了していく過程を可視化することで達成感を味わい、それぞれが主体であることを自覚できるように支援することで自己効力感を味わい、今後の学校生活や現場実習、卒業後の生活に繋げて欲しいと考え、この単元を設定した。</p>		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の担当の課題に気付き、必要な準備物を準備することができる。 [関心・意欲・態度] [思考・判断・表現] グループ活動の中で、自分の意見を伝えたり、友だちの意見を聴いて行動したりすることができる。 [思考・判断・表現] 		
指導計画 (9時間扱い) 本時は 第5・6時	<p>第一次 計画を立てよう (時間)</p> <p>第1時 茨城リンピック KOUNI 2018 第2弾!! って何をするの? (2時間)</p> <p>第2時 準備をしよう (3・4時間目/4時間) 本時</p> <p>第二次 茨城リンピック KOUNI 2018 第2弾!! を成功させよう (3時間)</p>		

[本時の指導]

1 全体目標

- 友だちと役割を分担し、自分の担当する準備をすることができる。

[関心・意欲・態度] [思考・判断・表現]

- ・友だちの意見を聴いたり，自分の意見を伝えたりすることができる。 [思考・判断・表現]
- ・気づいたことをアイデアシートに追加したり，ワークシートに記入したりすることができる。 [思考・判断・表現]

2 生徒の実態及び個別目標

観点	項目	内容	評価段階			
			◎	○	△	×
観点 1	協調性	他人と力を合わせて助け合うことができる	できる・ある	だいたいできる・だいたいある	あまりできない・あまりない	できない・ない
観点 2	指示内容の遵守	指示通りに作業する				
観点 3	質問・報告・連絡	必要な時に適切な質問・報告（作業の終了・失敗等）・連絡ができる				
観点 4	時間の遵守	時間（作業開始時間，締め切り等）を守る				
観点 5	積極性	作業に自分から積極的に取り組む				
観点 6	責任感	与えられた作業や当番などは最後までやる				

（就労支援のための訓練生チェックリスト・就労移行支援のためのチェックリストより抜粋・引用）

主な担当生徒 （性別）	グループ	生徒の実態						個別目標	主な指導場面 評価方法
		1	2	3	4	5	6		
A （男）	閉会式	○	○	○	○	○	○	・「これでいいかな？」と友だちに相談しながら準備を進めることができる。	5 観察
B （男）	競技	△	△	△	△	△	△	・分担した準備内容を最後までやることができる。	5 観察 アイデアシート
C （女）	開会式	○	○	○	○	○	○	・アイデアシートから自分の担当を選び，準備の進捗状況を友だちに伝えることができる。	5 観察 アイデアシート

主な担当 生徒 (性別)	グループ	生徒の実態						個別目標	主な指導場面 評価方法
		1	2	3	4	5	6		
D	放送	△	△	△	△	△	△	・アイディアシートを確認し、自分の担当を決め、準備をすることができる。	5 観察 アイディアシート
E	閉会式	○	○	○	○	○	○	・グループファイルに準備の進捗状況を記入することができる。	5 観察 ワークシート
F	放送	◎	◎	○	○	◎	◎	・タイマーを見ながら準備を進めることができる。	5 観察
G	競技	○	○	○	○	◎	◎	・自分の担当が終わらない時には、友だちに手伝いを依頼することができる。	5 観察 ワークシート
H	競技	△	△	△	○	○	○	・ペアになった友だちに準備内容を聞きながら、自分の担当を準備することができる。	5 観察
I	閉会式	○	○	△	○	○	○	・準備を進める上でわからないことがあった時には、友だちやグループの教員に質問することができる。	5 観察
J	開会式	◎	◎	◎	◎	◎	○	・グループの中で役割を決めたり、友だちに指示を出したり、リーダーを務めることができる。	5 観察
K	開会式	△	△	△	○	△	○	・分担した作業を20分間手休めせずに進めることができる。	5 観察
L	放送	△	○	○	○	○	○	・分担した作業を通して、友だちと連携しながら準備を進めることができる。	5 観察
M	閉会式	○	○	△	○	△	○	・分担した作業内容でわからない時には、グループ内で相談することができる。	5 観察
N	競技	◎	◎	◎	◎	◎	○	・グループの進捗状況を積極的に把握し、友だちにアドバイスを出すことができる。	5 観察

3 生徒の自立活動の目標（個別の指導計画より）

生徒名	目 標
A	・ロッカーを整理整頓して使用することができる。
B	・自分の机・ロッカーを整理整頓して使用することができる。
C	・クラスの係活動担当者を毎朝友だちと相談して決めることができる。
D	・教室移動や授業準備・持ち物で分からないときに聞くことができる。
E	・上級生や目上の人に対して、「お願いします」や「教えてください」等、敬語で依頼することができる。
F	・質問の回答を考える際には、考える時間をもらうよう相手に一言断りを入れることができる。

G	・給食の準備では、配膳の際に配膳台や机に汁や具材をこぼさずに配膳することができる。
H	・「一歩前」「右にずれる」「反対側向いて」などの動きの指示を聞いて、正確に動くことができる。
I	・メモしたことを復唱して確認する習慣をつけることができる。
J	・健康管理や体調の把握をするために一日の服薬状況を記録することができる。
K	・給食の準備では、汁物をほぼ同じ量に配膳することができる。
L	・目的に向かって行動する際の不安な気持ちを相手に伝えることができる
M	・昼休みの歯磨きでは、歯間を5分間で磨き残しなく磨くことができる。
N	・提出物リストを用いて提出物の締め切り日と提出の日付を記入することができる。

4 展開

※形態の表記は 全体：全，グループ：グ，個別：個

形態 時間 (分)	主な学習活動・内容 (必要に応じて配置図等を入れる)	指導の手立て（各Tの役割等） ※評価は□で囲む
全 (2)	1 始まりの挨拶をする。	・T1は、姿勢や視線の方向を確認してから号令を促すことで、授業の始まりを意識できるようにする。
全 (15)	2 学習内容と目標を確認する。 (1) イメージムービーを見る <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 1 準備の条件・活動中のルール 2 グループごとに準備を進めよう 3 報告会 4 振り返ろう </div> (2) 本時の全体目標を確認する。 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 茨城リンピック KOUNI2018 第2弾！！ を成功させるために・・・ 協力して準備を進めることができる。 </div> (3) 準備の条件と活動中のルールを確認し、穴埋め式のワークシートに記入する。 <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px;"> <条件> ① 報告・連絡・相談をする ② 活動や考えを記録に残す ③ 友だちの意見を聴き、自分の意見を伝えろ </div>	・プロジェクターの準備をする際には、生徒に声をかけ、主体的に活動できるようにする。 ・T1は、イメージムービーを流し、準備や運営に対する生徒のモチベーションを上げる。 ・T1は生徒が学習活動に見通しをもてるように、本時の学習内容をホワイトボードに掲示する。 ・T1は、全体目標を読み上げながら板書することで共同注意を促す。 ・ワークシートを配付する際には、生徒を指名し、授業の中で係の仕事を行えるようにする。 ・本時の全体目標を記入できるように穴埋め式のワークシートを配付する。 ・全体目標を確認後、各グループの目標を板書する。 ・茨城リンピックを成功させるための条件を、ワークシートで確認しながら生徒に発表してもらい、ひとつずつ板書する。 ・T1は挙手をせずに発言した際には、挙手してから発表するように言葉かけし、発表の姿勢を直す機会を設ける。 ・T1は、HとKが異なるページを見ていたり、T1の話の聞いていない様子の時は、前に注目するように言葉かけをする。 ・T2は漢字が苦手なAやC、Dに、記入が難しい

3 各グループで準備を進める

○開・閉会式グループ

- ・プログラム作り
- ・依頼書の作成
 - ①準備運動→体育委員
 - ②競技ルール説明→競技係
 - ③講評→教員

○放送係

- ・BGM プレイリストの作成
- ・準備運動の CD の確認（開会式）
- ・借用書の作成
 - ①放送機器→校務分掌情報チーフ
 - ②タブレット・スピーカー
- ・放送機器の使い方の確認

○競技係

- ・グルーピングの検討
- ・借用書の作成
 - ①道具→部活動担当教員
- ・道具の準備
- ・競技ルールの説明書の作成

場合には手本を書いて支援する。

- ・ T 1 は活動終了時間を伝えながら板書に残すことで、見通しを持ちながら活動できるようにする。

〔Tの振り分け〕

開会式G	閉会式G	放送G	競技G
T 1		T 2	T 3

- ・活動終了時刻を意識できるように、各グループにデジタルタイマーを配付し、セットさせる。
- ・ T 1 ～ T 3 は報告会で流せるように、各グループの様子をタブレットで撮影し記録に残す。
- ・ T 1 ～ T 3 が記録をすることで、役割を分担したり、準備したり、生徒の主体的活動を促す。
- ・ アイディアシートを板書に掲示したり、掲示板を活用したりすることで、各グループの活動を可視化し、連携できるようにする。
- ・ アイディアシートの付箋を移動させることで、準備の進捗状況を可視化させ、見通しをもちながら活動できるようにする。
- ・ T 1 は依頼書や借用書を引き出しに準備しておくことで、必要に応じて生徒が自ら書類作成に取りかかれるようにする。
- ・ T 2 は、放送係が音楽を選ぶ際に偏りがないように言葉かけをする。
- ・ T 1 ～ T 3 はリーダーや特定の人にだけ準備が偏らないように、できるだけ役割を分担するように言葉かけをする。
- ・ T 1 ～ T 3 は B, H, K がグループの活動に参加できていない時には、リーダーとペアになることで活動に参加できるように支援する。
- ・ T 1 もしくは T 2 は、E が減動してしまった際には、得意な書字活動を促したり、グループとして活動していることを説明したりすることで、活動に参加できるように支援する。
- ・ T 3 は、競技 G が体育館へ移動する際には、掲示板へ記載するように促し、他のグループが確認できるようにする。

B, D, E, F, G, H, I, K, L, M

- ・友だちと役割を分担し、自分の担当する準備をすることができる。

〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕

A, C

- ・友だちの意見を聴いたり、自分の意見を友達に伝えたりすることができる。〔思考・判断・表現〕

J, N

- ・リーダーとしてグループの準備の進捗状況を把握し、友だちにアドバイスをしたり、意見をまとめることができる。〔思考・判断・表現〕

4 学習を振り返る

- (1) アイディアシートを使って各グループの準備の進捗状況を報告し合う。
- (2) 写真を見ながら各グループの教員からコメントを聞く。

- ・ T 1 は各グループのリーダーを指名し、アイディアシートを使いながら準備の進捗状況を発表するように促す。
- ・各グループの様子をスライドショーで流し、生徒自身が客観的な評価ができるようにする。

全 (3)	<p>(3) 評価表を記入する。</p> <p>5 終わりの挨拶をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合わせて、ワークシートの内容を変え、適切に振り返ることができるようにする。 ワークシートはファイルに綴じ、記録として積み重ねていくことで、学習を振り返ったり、達成感を味わったりできるようにする。また、目標に対する評価を見て、次の課題に気づくことができるようにする。 次回のスケジュールを確認し、単元の見通しをもてるようにする。 姿勢や視線の方向を確認してから号令を促すことで、授業の終わりを意識できるようにする。
----------	---	---

【板書計画】

12/13(木)生活単元学習

「茨城リンピック KOUNI2018 第2弾! の企画・準備・運営をしよう」

学習内容

- 1 準備の条件・活動中のルール
- 2 グループごとに準備を進めよう
- 3 報告会
- 4 振り返ろう

学習目標

茨城リンピック KOUNI2018 第2弾!
を成功させるために・・・
協力して準備を進めることができる。

活動終了時刻
14:10

<条件>

<ルール>

<目標>

<目標>

<目標>

<目標>

アイデアシート 開会式	アイデアシート 閉会式	アイデアシート 放送	アイデアシート 競技
----------------	----------------	---------------	---------------

掲示版